

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-2-1
売れる農林水産品・加工品づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

農村整備課長 廣川 正英

電話番号

0852-22-5176

事務事業の名称	農業農村整備事業管理	
目的	(1) 対象	農家、市町村、土地改良区
	(2) 意図	大区画化による生産コストの削減や収益性の高い売れる農作物の栽培を可能とする農業生産基盤の確保等のため、農業農村整備事業を計画的・効率的に進める。
事業概要	農業農村整備事業を計画的かつ効率的に進めるため、農家・市町村等の要望を踏まえ、適切な事業管理を行い、それに基づき事業計画を策定する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	事業計画策定地区数（地区）	目標値		7.0	8.0	5.0	5.0	地区
	式・定義	次年度の事業着手のために事業計画を策定する地区数	取組目標値						
			実績値	1.0	7.0	8.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	29,160	39,000
うち一般財源 (千円)	14,580	13,251

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・事業管理計画に従い計画どおり新規事業地区着手のための事業計画を策定した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・目標どおり8地区の事業計画を策定し、「売れる農産品づくり」に向けた基盤整備に着手した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・目標は達成したが、地域からの整備要望すべてに答えられていない。

②困っている状況が発生している「原因」

・米政策の見直し等に伴い、地域の農業生産基盤整備に対する機運が高まり整備要望が増加しているが、要望に応えるために必要な予算が不足している。

③原因を解消するための「課題」

・関係機関と調整し、事業管理を図りつつ、地域の要望に応えるための必要な予算の確保が課題

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・関係機関と協議・調整を図り、事業の実施時期、実施規模等を検討
 ・県が取り組む水田における園芸振興や国土強靱化対策等の推進を図るため、様々な機会を利用し、国に対して地域が必要とする予算の安定的確保を要望
 ・事業実施のために必要な県予算を確保するための手法を検討
 ・国予算の伸びが期待できる他事業の活用を検討